

令和2年度 学校評価 自己評価書 (2学期)

- 1 学校の教育課題 ○確かな学力の向上 ○豊かな心の育成 ○体力向上と保健・安全意識の向上
○特色ある開かれた学校づくりの推進 ○教職員の資質向上

2 課題と改善策 (4:よく実践され効果も出ている 3:実践されている 2:実践されているが効果が出ていない 1:実践が十分でない)

重点目標	評価項目	評価		成果や課題
		1学期	2学期	
確かな学力の向上	1 複式学習過程の定着のために、花尾小ガイド学習の定着に取り組む。	2.33	3.00	【成果】 1-○ 3学期は次の学年に向けてガイド学習の定着をもっとがんばっていききたい。 1-○ ガイド学習について2年生は自分たちで進められるようになってきた。それを手本に1年生への指導を進めていく。 3-○ わからないことがあるとすぐに友だちや教師に聞く児童に、自分で考えるようにさせた。 5-○ 今学期は、予定通り授業を進めることができ、習熟の時間もしっかりと取ることができた。 7-○ 家庭学習強調週間とノーメディアは各家庭に意識づけを図ることができているようだ。 11-○ うちどくの取組では、親子一緒に読んでいる様子が伝わってきて、よいことだと思う。 11-○ 読書週間をはじめ、様々な取り組みがうちどくにも反映されていて、子供たちも多様な本を読むようになったと感じる。 12-○ 頑張って取り組んでいるが、2年生でまだ乗れない子もいるので、3学期は昼休みや体育の時間を使って意欲を高めて練習をさせていく。 14-○ 感染症対策のために、道具を揃えて頂いたり資料を提供していただけて、助かった。引き続き、手洗い・うがい・マスクなどを徹底させていく。 14-○ コロナウイルス感染予防に対する意識が高まっている。しかしまだまだ油断している部分があると思う。 18-○ 疱疹踊りでは地域人材活用ができ、ありがたかった。コロナでなかなかできない状況だが、皆さんが気にかけて下さり、うれしく思う。 20-○ 中学年の授業を見せていただき、とても参考になった。3学期の低学年の授業にも生かしていきたい。
	2 思考過程が分かる構造的な板書(整合するめあてとまとめの提示)	2.67	3.25	
	3 児童の思考・判断を促す発問に取り組む。	2.67	3.00	
	4 児童が自分の考えを相互に説明する活動を位置付ける。	2.67	3.00	
	5 ドリルタイムや学習チャレンジタイムで習熟と活用を図る。(鹿児島チャレンジ・アシストシート、名作名文の暗唱、意見文等を書く活動)	3.00	3.00	
	6 授業で児童のICT活用に取り組み、学年に応じた活用をさせる。	3.00	3.33	
	7 家庭学習の点検を工夫し、調べたり文章を書いたりする宿題を出す。	3.00	3.00	
豊かな心の育成	8 黙々作業100%をめざす。	2.80	2.67	【課題】 5-● 取り組ませた成果や課題を見ていくことができればよいと思う。 8-● まだまだ意識できていないので、指導を続けていきたい。 8-● がんばっている児童も多いが、お喋りやぼーっと立っている等、なかなか黙々作業ができていない児童もいる。 10-● 冬になり、ボランティア活動時間に行う外作業があまりないと感じた。校内をしてみようか。状況にあったボランティアの実践を。 13-● 寒くなるにつれて朝の体力づくりへの参加が悪くなっていたので、3学期の持久走大会に向けて走らせるような手だてを取っていく。 21-● 少しずつ業務改善の意識が高まってきている一方、昼休みの使い方を含めて今一度考えていきたい。
	9 人権同和教育の視点に立って、1週間に1つ以上は児童全員のよさを見つけ、職員室や朝・帰りの会等で共有する。(うれしいポストの活用)	3.25	3.25	
	10 環境ISO活動やボランティア活動、青少年赤十字活動を通して、気付いて行動した児童を広める。(うれしいポストの活用)	3.20	3.00	
	11 毎月23日のうちどく(花尾読書の日)に取り組む。	3.50	3.50	
・体力と安全意識の向上	12 「一輪車名人になろう」に取り組む。(チャレンジかごしまの活用)	3.25	3.25	【課題】 5-● 取り組ませた成果や課題を見ていくことができればよいと思う。 8-● まだまだ意識できていないので、指導を続けていきたい。 8-● がんばっている児童も多いが、お喋りやぼーっと立っている等、なかなか黙々作業ができていない児童もいる。 10-● 冬になり、ボランティア活動時間に行う外作業があまりないと感じた。校内をしてみようか。状況にあったボランティアの実践を。 13-● 寒くなるにつれて朝の体力づくりへの参加が悪くなっていたので、3学期の持久走大会に向けて走らせるような手だてを取っていく。 21-● 少しずつ業務改善の意識が高まってきている一方、昼休みの使い方を含めて今一度考えていきたい。
	13 仲よし体育や授業で持久力や敏捷性の向上に取り組む。	3.25	3.00	
	14 健康タイムや各種健康教室を工夫し、疾病予防や早期治療に取り組む。	3.20	3.33	
	15 早寝・早起き・朝ご飯・歯磨きの習慣化に取り組む。	3.20	3.17	
	16 月1回の安全点検と連動した補修状況を共有し、安全指導を徹底する。	3.20	3.33	
特色ある開かれた学校づくり	17 地域合同行事や文化財少年団活動、あいご会活動を通して、保護者や地域住民と絆を強める。			※保健給食委員会の給食片付け点検活動を始めた。(来ない時に声かけをするが)声かけをしないと来ないことが多い児童がいるので改善されるようにしていきたい。 ※廊下を走る児童が多いので安全指導をしっかりと行っていきたい。
	18 地域人材を活用して、郷土を学ぶ探究学習(総合学習・創意)に取り組む。	2.50	3.25	
	19 教員同行で清掃活動や花作りを行い、美しい学校づくりを行う。	3.00	3.17	
資教職員の質向上	20 研究テーマに基づく研究授業を行い、参加型の授業研究に取り組む。	2.50	3.25	※保健給食委員会の給食片付け点検活動を始めた。(来ない時に声かけをするが)声かけをしないと来ないことが多い児童がいるので改善されるようにしていきたい。 ※廊下を走る児童が多いので安全指導をしっかりと行っていきたい。
	21 業務改善に取り組む、良い事例を共有する。	3.00	2.83	

3 次学期に向けての取組

- 今年度の花尾小学校の研究テーマである「複式指導」。全学級で、ガイド役の児童が学習を進めていけるようになってきている。3学期も学校全体で取り組んでいきたい。
- 確かな学力の向上のために、「めあて」と「まとめ」の整合性や、思考過程の分かる「板書の工夫」。また、合わせて「ノート指導」の徹底を行っていく。2学期は意見の交流の場も増え思考の深まりが見えてきている。
- ドリルタイムや学習チャレンジタイムでは、個に応じて、習熟と活用を図るように努めている。また、プリントや課題等をただ与えるなく、児童の解答を分析し、計画的に課題等を与えるようにしていく。学力向上へつなげていきたい。
- 1学期と比べると、委員会などで、子どもたちが声をかけないと動かない場面が多かった。仕事に対する慣れや仕事のことを忘れていたことが原因のようである。自分の当番の日を気づかせる工夫。そして声かけを担当を中心に行っていくことで改善されるようにしていく。